

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.25】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は3人家族のモニターです。

電気生ごみ処理機に投入する前の下準備として、投入物を小さくカットすることや水切りを徹底しているそうですが、玉ねぎの処理については、乾燥時の臭いが強いことから、処理機には投入せずに廃棄しているそうです。

また、水切りを徹底していても、上の部分は乾燥が不十分であったことから、処理機の構造としては深さよりも横幅が広い方が適しているものと感じているそうです。

なお、こちらの方が使用している機器の最大処理量は1回あたり1000グラム（約2.8リットル）と標記されておりますが、それを超える量を投入した際には、減量率の低下がみられました。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp